

サイエンスキャッスルに出場

令和5年12月23日に岡山理科大学にて開催された「サイエンスキャッスル2023中四国大会」に書類審査を突破した11グループが出場し、ポスター発表を行いました。

【普通科が発表した研究テーマ（7グループ）】

○弱アルカリ性洗顔料と肌の pH の関係、○日中の眠気を覚ますために効果的な方法、○浴室環境における安全な色使い、○ペアワークの人間関係における学習効果の変化、○ $\sqrt{2}$ の少数部分がある区切りで区切ったときに一定の数字が規則的に現れるか、○楽しく身につくプログラミングの授業法の確立、○商品パッケージが引き起こす購買意欲

【理数科が発表した研究テーマ（4グループ）】

○矢羽の長さが命中率に及ぼす影響、○傘の内側に発生する風、○三つの振り子の振幅の変化について、○LCNF を用いた水の浄化のための吸着剤の開発

【生徒インタビュー】

○サイエンスキャッスルでポスター発表を行ってみてどうでしたか？

- これまで自分たちが研究してきたことを色々な分野に詳しい人に見てもらえて、色々な角度から見たアドバイスを多くいただけたので良かった。私は発表するのが得意ではないけど、サイエンスキャッスルに挑戦して色々な人の前で発表するという経験ができて、自分自身成長することができたと思う。今回の発表で見つけた改善点やアドバイスをこれからの研究に活かしていきたいと思った。
- 一般の方から審査員の方にまで聞いてもらい質問を受けることで、自分たちからの目線とは違った新たな意見を得ることができたし、発表を何度も行うことで自信がついた。

○サイエンスキャッスルでポスター発表を通して校外の人と交流をしてみようどうでしたか？

- 今回のサイエンスキャッスルのポスター発表を通じて校外の人との交流をしてみて、ポスターを作るにしてもどのように作る事ができるのか、どのようにして課題を発見したのかなど知ることができて大変良く、校内での課題研究の発表に役立てることが出来ると感じた。また、校外の人たちと意見交換をすることで自分たちでは思いつかないような考え方や、調べ方、そして調べ方の基準を知ることが出来たので良かったと思う。
- 他の学校の発表を聞き、自分になかった視点で研究を行っている人が多くて面白かった。また、自分たちの発表を聞いてもらい質問を受けたり意見をもらったりすることで自分たちの研究も深まったと感じた。

